

まちづくり懇談会 ニュースレター

Vol. 3

自然と都市が調和し、暮らしと産業の元気が感じられる、未来へつながるまち

第3回まちづくり懇談会を開催しました

計画づくりが大詰めを迎えています

和泉市では、南部地域の活性化に向けて大阪外環状線沿道の望ましい土地利用の実現や良好な沿道景観形成を図るため、大阪外環状線沿道土地利用基本計画の策定に取り組んでいます。令和3年度にスタートした計画づくりもいよいよ大詰めを迎えており、昨年12月から今年の1月にかけてはパブリックコメント※を実施し、2月10日には、今年度最後となる第3回まちづくり懇談会を開催して計画素案について意見交換を行いました。第3回まちづくり懇談会の開催概要と主な意見、質疑応答をご紹介します。

※パブリックコメントでは、1件のご意見をいただきました。

【開催概要】

会議名：第3回和泉市大阪外環状線沿道まちづくり懇談会

日時：令和5年2月10日（金）19:00～19:40

会場：南部リージョンセンター 多目的ホール

議題：和泉市大阪外環状線沿道土地利用基本計画(素案)について



【主な意見、質疑応答】

これまでにいただいたご意見を踏まえた計画素案についてのご説明をさせていただきました。主な意見、質疑内容は以下の通りです。

- ・土地利用方針に「周辺道路における児童の通学の安全について配慮する」と記載されているが、沿道の部分になるので、子どもの安全はきちんと考えていただきたい。現在は木を植えて沿道整備をしているが、保護者からは交通量が多いためガードレールなどを設置して欲しいという意見がある。交通事故が起こらないようにする等の文言をいれていただきたい。
→交通安全対策については、(仮称)槇尾学園開校に向けて具体の動きが出てきた際に、教育委員会と情報共有を図りながら進めていく。(市回答)
- ・商・工業系の地域活性化ゾーンで土地利用を進めていこうとすることはわかるが、自然ゾーンや一般土地利用ゾーンでは何か建てようとしたときに、今の規制を変更していただけるのか。
→自然ゾーンや一般土地利用ゾーンは、積極的に土地利用について制度の緩和を考えているものではなく、現行の制度を用いて土地利用を図っていくことになる。ただし、事業が起こりそうなところがあれば、その足かせにならないような計画としている。(市回答)
- ・令和7年度に(仮称)槇尾学園が開校予定となっている。現在、横山小学校、南横山小学校のPTAの関係者として懇談会に参加しているが、今後のメンバー構成はどうなるのか。
→計画策定後に、PTA、町会長などの交代がある中で、どのような会議体で継続していくかについては、改めて校区長に相談の上決定したいと考えている。(市回答)

和泉市大阪外環状線沿道土地利用基本計画(素案)について

まちづくりの方向性と土地利用計画の概要をご紹介します。

これまで地域別まちづくり懇談会やパブリックコメントなどの取り組みを進めながら計画を検討して参りましたが、今年3月の策定を前に計画内容が固まりつつあります。今回は、現時点でのまちづくりの方向性と土地利用計画についての概要をご紹介します。

◎将来像

自然と都市が調和し、暮らしと産業の元気が感じられる、未来へつながるまち

◎土地利用の方向性

市街化調整区域の基本的性質に即し、自然・集落・農の環境と調和した土地利用の継続を基本とします。

将来像の実現に向けて、地域の魅力や活力の増進、地域イメージの向上に寄与する機能の導入を図ります。

無秩序な市街化の防止

みどり豊かな環境の保全

地域の魅力と活力の向上

商・工業系用途の誘導

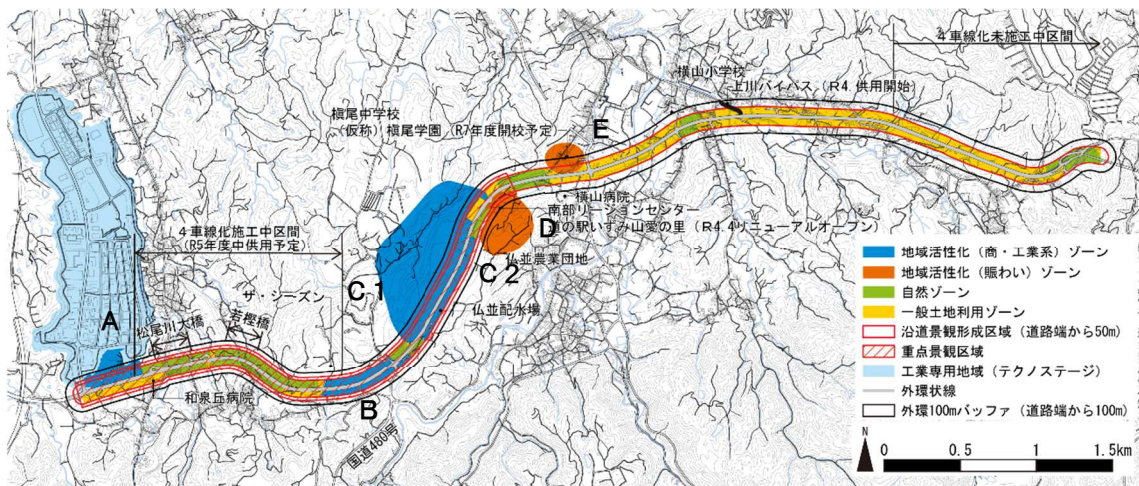
一般土地利用ゾーン

自然ゾーン

地域活性化(賑わい)ゾーン

地域活性化(商・工業系)ゾーン

◎土地利用計画



今後の土地利用の推進に向けた取り組みについて

本計画は3月に策定する予定ですが、来年度も引き続き、まちづくり懇談会等を継続しながら計画の実現に向けた取組みを進めていく予定です。引き続きご協力いただきますようお願いいたします。

まちづくり懇談会ニュースレターに関するお問い合わせ先

和泉市 都市デザイン部 都市政策室 都市政策担当

〒594-8501 大阪府和泉市府中町二丁目7番5号 電話：(0725) 99-8140